回答様式２

「カリキュラム・マネジメント・ハイスクール」
実践研究（研究指定校）事業計画書

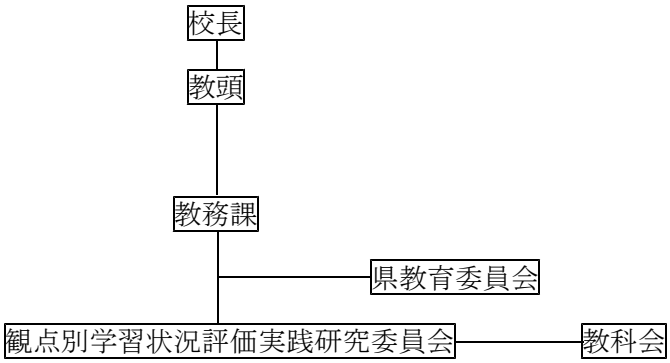
－県立高等学校，特別支援学校，中等教育学校（後期）用－

【学校の概要】

ふりがな 学 校 名	とくしまけんりつとみおかひがしこうとうがっこう 徳島県立富岡東高等学校	校長氏名	宮井玲夫
所 在 地	〒７７４－００１１ 徳島県阿南市領家町走寄 102 番 2 電話０８８４－２２－２１２０　ﾌｧｸｼﾐﾘ０８８４－２３－５２４４		

【研究計画】

研究主題	観点別学習状況評価の充実による授業改善を通して、教育活動の質の向上を図る
研究主題設定の理由	新学習指導要領の実施に伴い、令和４年度入学生から観点別学習状況評価を指導要録に記載することになる。また、「学習指導」と「学習評価」は学校の教育活動の根幹であり、「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割を担っている。これらのことから、観点別学習状況評価の充実に取り組むことは、本校の喫緊の課題であり、カリキュラム・マネジメントの推進につながると考え、次のような取組を実践研究する。 一つ目には、各教科における観点別学習状況評価の充実について研究する。特に、「学びに向かう力、人間性等」に係る「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法について具体的な実践例を挙げられるよう取り組む。 二つ目には、観点別学習状況評価を教師の指導改善と生徒の学習改善につながるものとするための方策について研究する。具体的には教師の負担をできるだけ軽減した実施可能なＰＤＣＡサイクルの実践について取り組む。 三つ目には、観点別学習状況評価の結果を総括するものとしての評定について研究する。特に、観点別学習状況評価と評定との整合性がとれるような評価方法について具体的な実践に取り組む。 以上の取り組みにより，観点別学習状況評価を充実させ，教育活動の質の向上を図り，カリキュラム・マネジメントを推進することを目的として，研究主題を設定した。
調査研究の構想	本調査研究では，観点別学習状況評価の実践研究に重点的に取り組むことを通して、カリキュラム・マネジメントを推進する。 具体的には，各教科から１名ずつこの研究に取り組む教員を選出し，観点別学習状況評価実践研究委員会を組織する。同委員会では，主題設定の理由で示した３つの項目について，実践研究の方向性を協議するとともに，委員会の各教師が，本年度の担当科目において実践研究に取り組む。 実践研究の経過については，各教科会や職員会議への報告及び経過報告書等を通して全ての教職員で共通理解を図るとともに，校内での普及促進に努める。また、ホームページにを研究成果を掲載することで、他校への普及にも努める。 また，実践研究前後で教師へのアンケート調査を実施することで，本研究の取り組みを検証する。また，生徒に係る本研究の検証については，授業評価及び生徒用アンケート調査で行う。
学校・地域の実態	本校は全日制商業科，普通科と県立中学校そして定時制普通科の生徒が同じ校舎で学んでいる。定時制課程の生徒は学校生活が時間的に別れているが，文化祭は合同で行っている。また，全日制課程の生徒と県立中学校の生徒は普段の学校生活や学校行事，部活動等一緒に活動することが多い。 商業科の生徒は検定試験等に熱心に取り組むと共に，ボランティア活動等で地域の活動に貢献している生徒が多い。部活動にも熱心に取り組んでいる生徒が多く，挨拶を欠かさず，本校の伝統である，さわやかな校風を受け継いでい

る。
　普通科の生徒は，授業や学校行事，部活動等に真面目に取り組んでいる。市町村立中学校から入学した生徒と県立中学校から入学した生徒の間に壁はほとんどなく，すぐに仲良くなれるところも本校生徒の良い点である。
　令和３年度は教員の定数が１減となり，やむなく家庭科の教員が非常勤となった。そのため，家庭クラブの活動や，消費者教育，成年年齢引き下げ等への対応で家庭科以外の教員もフォローしながら取り組んでいる。教員の年齢構成ではベテランから若手までバランス良く配置されており，教員間の意思疎通も図られている。
　普通科においては進学校としての地域からの期待は大きいものがあり，注目度も高い。また，県立中学校においては，保護者の興味関心が高く、生活指導から学習指導に至るまで、学校対する期待は非常に高いものがある。
　また，商業科については，長い伝統があり，検定試験で多くの生徒が一級を取得したり，商業関係の各種競技会で優勝したりといった活躍を示している。
　しかし、ここ数年商業科への入学希望者が減少していることから，地域の方々に商業科の取組をＰＲする必要性を感じている。
　本校の生徒は真面目であり，小テストや課題提出などの，与えられた課題に取り組む力はあるが，主体的に課題を発見し、その解決に取り組むという面では弱い部分がある。今回，観点別学習状況評価の充実に取り組むことで，授業改善を図ることが目的の一つとなっているが，この研究を通して，主体的に学習に取り組む生徒の育成を図りたいと考えている。

研究体制	※指定校で研究を推進していくにあたっての研究体制を記入してください。図や表を用いても構いません。